

【令和5年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として12年目を迎え、令和5年度も聴覚障害者の生活と権利を守りながら、地域の当事者団体として1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【兵庫の運動】

旧優生保護法によるろう者の強制不妊手術・断種・中絶問題について、令和5年3月3日、県内の聴覚障害女性2名が神戸地方裁判所に提訴され、引き続き裁判支援に取り組んでいます。また、優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会（略：優生連）の運動に呼応し、院内集会への派遣や最高裁向け署名運動に取り組みました。特に署名運動は兵庫三団体（兵聴協・兵通研・県サ連）で目標10,840筆を掲げ、地域ろう協会とともに展開してきました。3月末時点では9,768筆でしたが、最終的には10,333筆となりました。原告をはじめ強制不妊手術の被害者が一日も早く人権と尊厳を回復できるよう最高裁が正義・公正の理念に基づく判決を下すことを切に求めています。

令和5年度中に手話言語条例を可決した市町は太子町（令和6年3月22日制定）のみでした。県内29自治体（26市3町）で条例が施行されており、施行後の手話言語に係る施策を展開していくことは重要課題であり、手話言語の普及のみにとどまらず、手話言語を必要とする市民が、手話言語を利用しやすい環境に整備していくこと等が求められています。

兵庫県に「兵庫県手話言語条例（仮称）」の制定をめざして要望書を提出する等、要望を続けています。引き続き、県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会とともに働きかけていきます。

国連の「手話言語の国際デー」に合わせて、世界ろう連盟の「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントの立ち上げに呼応し、当協会も兵庫県と連携しながら、各市町や地域ろうあ協会に働きかけたところ、昨年度を上回る33市町、民間事業者等の協力もあり、県内65カ所で実施できました。イベント面では、兵庫県と共催で神戸市中央区の東遊園地広場で「手話言語を祝おう！2023」を開催しました。令和6年度も引き続き実施します。

コロナ禍がきっかけで始まった県知事会見は現在も手話通訳の配置が続いております。聴覚障害者情報センターにおいても遠隔手話通訳だけでなく、対面形式も含め今後とも手話言語による情報配信や医療等生活において情報コミュニケーション保障が拡充できるよう取り組んでいきます。

会員拡大については昨年度と比べ10名減少の603名でした。5月7日に神崎郡3町からなる神崎ろうあ協会が発足され、今後とも地域ろうあ協会と連携を取りながら課題の克服に取り組めます。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数1,006部）のところ、543部で残念ながら未達成でした。

【協会の事業】

昭和48年に兵庫県ろうあ連盟を結成してから50周年を迎えることができました。11月18日に姫路市総合福祉会館においてささやかな記念の集いを行いました。

第73回近畿ろうあ者大会（明石）が短時間での開催ではなく、一日中開催で実施できたこと、第50回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（三田）も前夜交流会も実施し、一日中開催

する等、コロナ禍以前に戻ってきています。

当協会の各事業所の運営事業に関しても行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めてきました。今後ろう者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。地域協会と連携を取りながら、未組織地域のろうあ協会の結成や組織強化に努めていきます。

きこえない、きこえにくい子どもや家族を含めた切れ目のない支援をめざした取り組みとして、全国的に「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」が広がっています。兵庫県においても令和6年度から具体的な取り組みが始まる予定です。当協会としても県教育委員会や関係機関と連携し、兵庫県立聴覚障害者情報センターに設置運営していくように努めていきます。

また、兵庫県下は、ろう者のための社会資源がまだまだ少ないため、県下各地に拠点となる施設や事業を作っていきます。

兵庫県及び県内各市町すべてに手話言語条例を制定していきましょう。今後とも聴覚障害者に対する理解や手話言語を広めていき、真の共生社会の実現をめざしていきます。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、2023年度第11回評議員会（大分）における「優生思想の根絶や全ての人の尊厳と権利を保障し、差別をなくす運動をさらに取り組む」特別決議をふまえ、優生保護法問題の全面解決をめざしていくために運動を継続しています。

旧優生保護法を巡る裁判は、令和6年3月に大阪高等裁判所で兵庫訴訟の控訴審が逆転勝訴しましたが、国はこれを不服として控訴しました。その後、令和5年11月1日、最高裁判所は札幌、仙台、東京、大阪の高裁で判決が出され、上告されている5件について15人の裁判官全員による審理することを発表しました。令和6年5月29日に最高裁で審理を実施します。国は依然、各地の原告勝訴判決を認めず上告を続けており、引き続き、国をはじめ国会議員の働きかけと世論を動かす運動を継続していきながら早期の全面解決をめざしていきます。障害者権利条約においても国連障害者権利委員会は、総括所見に沿って、日本政府が被害者を早期に救済することを勧告しています。一日も早く被害者への謝罪と尊厳の回復を働きかけねばなりません。

大阪府立生野聴覚支援学校女児事故死訴訟の大阪高等裁判所における控訴審では、署名運動を展開してきました。控訴中ですが、優生思想を根絶し、差別のない社会が実現できるよう引き続き支援しています。さらに映画「沈黙の50年」啓発運動を通して優生思想の根絶や全ての人の尊厳を保障し、差別をなくす運動に取り組んでいます。

手話言語条例については、令和5年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和6年3月30日現在、536自治体で手話言語条例が制定されています。

デフスポーツに関しては、令和5年からスタートしたデフスポーツ・サポーター制度は、全国各地の企業や民間団体をはじめ多くのサポーター会員を集めており、ろう者のスポーツ環境の向上をめざして2024年も呼びかけていきます。2025年に予定される東京2025デフリンピック開催を契機とした共生社会の実現に向けて取り組みが期待されます。

公一1 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会（神戸会場）

ア. 開催期間：基礎編 令和6年1月31日（水）～令和6年3月27日（月）8回

イ. 開催場所：神戸市立総合福祉センター

ウ. 受講人数：16名

2. 講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語条例、兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

(2) 派遣回数 727回（兵庫県委託事業を除く）

小学校、中学校、高等学校 17回、大学・短大・専門学校 86回、奉仕員養成（実技）77回、通訳者養成 246回、奉仕員養成（講義）57回、通訳者養成（講義）39回、スキルアップ講座等 奉仕員 12回/通訳 25回、統一試験対策等 34回、現任研修会 36回、講師養成研修 15件、学習会 39回、講演・シンポジウム 18回、要約筆記者養成（講義）10回、中途失聴者・難聴者関係 14回、その他 2回

(3) 講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

3. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア. 開催日時：令和6年2月24日（土）9時半～12時

イ. 開催場所：中央区生活文化センター

ウ. 受験者数：3名

エ. 合格者数：3名

4. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

ア. 派遣回数：477件

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

・日 時：令和5年6月4日

- ・場 所：あすてっぴKOBÉ
- ・出席者：18名
- ・内 容：司法関連の手話通訳について、兵聴協活動方針、事業計画について

第2回研修会

- ・日 時：令和6年3月27日
- ・場 所：兵庫県庁
- ・出席者：14名
- ・内 容：議会における手話通訳について

5. ろうあ兵庫

令和4年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、当法人として重点的に取り組んでいる事項を主にトップページに掲載し、運動面や事業面において会員に広く知っていただくことを念頭に編集しました。

主な内容

- 4月号 第517号：「障害者権利条約」の“総括所見から考え、私たちができることは？”等（12頁）
- 5月号 第518号：「咲む」上映会を県内各地で開催させよう！等（12頁）
- 6月号 第519号：第50回近畿ろうあ者体育大会 in 滋賀が開催！等（12頁）
- 7月号 第520号：第12回総会を開催、第71回全国ろうあ者大会分科会報告等（14頁）
- 8月号 第521号：第3次兵庫訴訟 第1回口頭弁論、幹部研修会取り組み報告等（12頁）
- 9月号 第522号：ひょうご手話フォーラム「手話言語は生きる権利」が開催！等（14頁）
- 10月号 第523号：「手話言語の国際デー」を祝おう！2023 開催等（12頁）
- 11月号 第524号：6年ぶり兵庫、4年ぶり一日大会開かれる～第73回近畿ろうあ者大会等（14頁）
- 12月号 第525号：第19回兵庫県聴覚障害者文化祭 開催！等（12頁）
- 1月号 第526号：新年のあいさつ、「手話言語の国際デー」ブルーライトアップシーン等（16頁）
- 2月号 第527号：第50回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい開催等（16頁）
- 3月号 第528号：～一人ひとりの子どもが輝くために～第27回ろう教育学習会等（14頁）

6. 調査研究事業

- (1) 8月21日（月）、兵庫県難聴労働部会、兵聴協福祉労働対策部と一緒に兵庫労働局を訪問し、「懇談」の場を設けることができました。労働問題や職場定着支援も含め誰もが働きやすい環境を整え、より良い制度の改善に繋がられるように地域で労働に関する取り組み、手話協力員の役割等の問題点、課題点を今後の活動の取り組みをお願いしたい。または県下のろうあ協会を通して各自治体に問題提起、要望できるよう、情報提供するとともに、当法人理事会を経て近畿ろうあ連盟評議員会を通じて、全日本ろうあ連盟に提案し、国への要望、交渉材料のために参考資料として活用する等を各地域ろうあ協会宛に配布しています。（福祉労働対策部）
- (2) 県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査
手話奉仕員・通訳者養成講座、レベルアップ講座等の開催状況を県内41市町にアンケート調査を行いました。回収したデータをもとに手話言語学習者の学習する場について分析の結果、今後の課題をまとめたものを各協会に配布しました。（手話対策部）

7. ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

- (1) 生活問題対策部会議
第1回生活問題対策部会議

日 時：令和5年5月13日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：神戸市立障害者福祉センター4階 A 会議室

出席者：10名（身障者相談員7名、福祉対策部3名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、聴覚障害者対象日常生活用具給付及び障害基礎年金受給実態調査アンケートについての報告、各地域の情報交換等

福祉労働対策部会議

日 時：令和5年11月4日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報サロン室

出席者：10名（身障者相談員5名、福祉対策部5名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、日常生活用具、駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用、認知機能検査について問題等、その他、ひょうご労働福祉2023開催について内容等

第2回生活問題対策部会議

日 時：令和6年2月3日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター交流室

出席者：4名（身障者相談員2名、福祉対策部2名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、聴覚障害者対象日常生活用具給付及び障害基礎年金受給実態調査アンケートについての報告、各地域の情報交換及び意見交換、その他

8. 手話普及啓発事業

（1）若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】150回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座

（2）出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】15回

【場所】企業、事業所、団体 等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座、接客方法の体験 等

（3）親子向け（聴覚障害児等）手話教室「ひよこ」

聴覚障害児に手話等に触れながら、手話を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】6回

（4）講師スキルアップ講座の開催

事例検討3回

奉仕員養成講師のスキルアップを図るための講座 3会場（尼崎、朝来、加東）

（5）手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和5年10月24日（火）～11月27日（月）

5会場（神戸、尼崎、加古川、西脇、朝来）×各4回 計20回

(6) はじめての手話

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催しました。

【回数】10回

【場所】神戸市3、姫路市2、加古川市、南あわじ市、養父市、丹波篠山市、福崎町

【内容】聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

(7) 観光業向け手話講座の開催

観光業向けに聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】15回

9. たじま聴覚障害者センター

(1) 就労継続支援B型事業

令和5年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主にろう者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上を中心に支援を実施しました。

当事業所では高齢者が多いので、身体機能低下予防のため月2回の体操教室継続、月1回口腔衛生指導を実施しました。現在、利用者高齢化に伴い、病院受診や介護保険利用のため、当事業所の利用減少が続いています。その状況を豊岡ろうあ協会役員会において情報提供、意見交換を行いました。

県が障害者施設等において新型コロナウイルス感染症を早期に発見し事業継続を支援するため、従事者に対し抗原検査キットの無料配布を実施しており、これを利用して週2回全職員の感染有無の確認を行いました。令和5年度に利用者のうち数名にコロナ罹患が発生しましたが、関係者と連携しながら自宅療養するなどこれ以上蔓延しないように充分注意をしました。

事業所に義務付けられている虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染防止対策委員会等を開催し、年1回職員向けの研修会を開催し全員受講しました。

また4月から義務付けられている、災害や感染症の大流行により、不測の事態が発生した際にも事業を中断させない、あるいは早期復旧を図るための計画として業務継続計画（BCP）を作成し職員に周知しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,162名

エ. 作業内容

- ・請負作業：市役所庁舎日常清掃業務、ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、ランドセルの部分手作業と手縫い工程作業、プラコップシール貼り作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、古紙回収・自主製品製作、販売

(2) 相談支援事業

令和5年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

この事業は制度上、報酬単価が低いこともあり、また常勤職員の退職も相重なり、これ以上事業経営の継続が困難なため、3月31日をもって事業廃止し、利用者につきましては基幹相談支援センターと

協議のうえ他事業所に振り分けを行い、今後からは一般相談だけ対応することにしました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く） 午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 件数

- ・計画作成 67件
- ・モニタリング 113件
- ・その他相談6件

(3) 意思疎通支援事業

令和5年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、3市2町より手話通訳者等養成事業を受託、豊岡市より要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

受講者の減少傾向がみられるため、行政との相談のうえ広報方法について工夫し、関係者の受講勧誘に力を入れるよう確認しました。

ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月27日～3月2日（基礎課程・全29回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：12名

イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月10日～1月17日（基礎課程・全25回）
- ・場所：やぶ市民交流広場
- ・受講者数：17名

ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月16日～11月24日（入門課程・全21回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：7名

エ. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月29日～12月21日（基礎課程・全25回）
- ・場所：浜坂多目的集会施設
- ・受講者数：5名

オ. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：21件

カ. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：9月1日、10月27日、11月24日、1月19日、2月9日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ39名

10. はりまふくろうの家

令和5年度は、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める65歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題について、令和3年4月より65歳以上の利用者は0名のままになっています。きょうされん兵庫支部からも状況確認や視察などあり、要望書も提出されたが、依然として介護保険サービスに移行させる方向であるとの回答が姫路市よりありました。新規利用登録は0名で、逆に利用終了となったのは1名です（令和6年3月31日現在）。

おにぎり・お弁当の作業では、例年通り就労継続支援A型事業所2ヶ所、姫路聴覚特別支援学校、ヘルパー事業所等への配達や、姫路作業所連絡会の市役所ロビー（はーとふるSHOP）で出店を続けております。年1回開催される「ひめされんまつり」では日頃販売しているお弁当とは雰囲気を変えたメニューを販売し、ご好評いただきました。

法令で義務付けられている虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、職員向けの研修会を年1回開催し、全員が受講しました。

地元の姫路ろうあ協会とは、はりまふくろうの家から、利用者が参加できそうな行事などを姫路ろうあ協会に受け入れ可能か打診し、承認いただければ参加することもありました。令和5年度はふれあいサロンに参加し、交流しました。また、姫路ろうあ協会理事会で、はりまふくろうの家から情報提供を行っています。通所されている聴覚障害の利用者から「情報を得たい」と入会の意思があり、つなぐことができました。

(1) 日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所 姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内

(3) 定員・利用実績 18名・延べ2,466名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、素麺の箱折り、商品袋詰め等

イ. 自主作業：おにぎり／お弁当／お菓子製造・販売、アルミ缶回収、自主製品製作・販売

月・水・金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（2～3回/月）にて、姫路作業所連絡会の加盟事業所としてはーとふるSHOPで販売しており、ほぼ完売しています。

3年程前より姫路聴覚特別支援学校からお弁当を今でも継続してご注文を頂いております。

(5) 年間行事

お花見、社会見学（姫路科学館、太陽公園、県立歴史博物館）、ふれあいサロン、兵庫県聴覚障害者文化祭、はーとふるSHOPまつり、姫路聴覚特別支援学校PTA交流会、忘年会、節分、ひめされんまつり

11. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、平成26年4月に開所。聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供してまいりました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーションである「手話」を通して、ともに学び、支え合う場として活動してまいりました。またトライやるウィーク（西宮市立深津中学校と甲陵中学校と浜脇中学校）を通して、生徒さんと一緒に作業したり、手話を使って交流したり、楽しめました。

将棋が好きな利用者が集まり、毎木曜日に将棋交流をしてまいりました。

新型コロナウイルス感染予防の対策としては、手洗い・うがいを徹底し、体温などの管理、作業の時間短縮などの取り組みを続けています。

また、「熱中症対策について」と「水道について」の学習会を開催しました。利用者同士の交流を図るため、赤い羽根の歳末たすけあい募金の地域交流事業を活用してクリスマス会を行いました。また、兵庫県募金会のNHK歳末たすけあい助成金を活用して、利用者が高齢化に伴い、靴の履き替え時、休憩時や

体調が急に悪くなった時に利用できる「ロビーベンチ」と、転倒防止の為に安全な「椅子」を導入しました。

今後も利用者へ様々な情報提供を行い、また楽しんでいただけるような計画を立てていきたいと考えています。

(1) 日時（利用者時間）

月曜日～金曜日 10時～15時30分

(2) 場所

西宮市津門大筒町9-17 シャトーファイブ大筒101号

(3) 定員・利用実績

15名・延べ1,956名

(4) 作業内容

請負作業：アイラブユーキーホルダー、シール貼り、封入作業 他

(5) その他

ア. 学習会

- ・7月：「熱中症対策についての学習
- ・12月：水道についての学習会

イ. その他

- ・12月：クリスマス会（利用者と職員のみ）

※社会福祉協議会の「歳末たすけあい募金」の補助

12. 尼崎聴覚障害者センター

(1) たつのころうあハウス（就労継続支援B型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。上半期、施設外の作業を始めた事で、工賃アップし、学習会を開く回数を増やしました。学習会で学んだ内容を活かして活用してくれる仲間たちもいました。学習会ばかりではなく、様々な体験も取り入れて、外での活動を増やし仲間たちも楽しく過ごせ、職員たちは虐待防止研修など受講し、知識を高め仲間たちとの関わりを大切にしながら取り組み、また尼崎ろうあ協会理事会において、必要に応じて当事業所についての情報提供・意見交換を行いました。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）

土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

ウ. 定員・利用実績

20名・延べ2,415名

エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・タオル、服類畳み
- ・自主作業：自主製品製作（ポプリ・ルームスプレー）販売

- ・施設外：情報センター掃除・ポスティング・草抜き

オ. その他

- ・ニウエルフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（淡路島 おのころ事業所へ見学、交流）
- ・見学、体験（ヨガ・シイタケ狩り&魚釣り&バーベキュー・イチゴ狩り・チキンラーメン作り）
- ・学習会（栄養・歯の磨き方・歩行ルール・防災の取り組み・救急予防・生活習慣病・避難訓練）
- ・研修会（障害者虐待対応力向上研修 B 研修・C 研修・ジョブコーチ研修）

(2) たつのご工房（地域活動支援センター）

感染防止対策に引き続き出勤前に検温記録・アルコール消毒・マスク着用をしています。

週 2 回（火・金）たつのごどん店を開きました。昨年度も 2～3 回程休業営業を実施しました。平日に来られないお客さんがたくさん来られ大繁盛でした。

HACCP の義務化より飲食店・製麺に関する衛生管理計画の作成・会議を随時開き、感染対策や衛生管理等の見直しをしました。事業所のミニパンフレットを作り、地元の手話サークルやニうえるフェア等で情報を発信していきます。月 1 回レクリエーションでは利用者たちの希望を聞き、料理や気分転換に外出や買い物をしました。本年は地元の手話サークルと交流ができ、とても喜ばれていました。来年度も利用者の要望を引き出し、計画したいと思います。

職員は障害者虐待対応力向上研修に参加し、虐待について学びました。仲間たちと関わるなか、曖昧な行為も虐待に当てはまるのか判断が難しかったです。日々の現場で活かしていきたい。

利用者は高齢者が多く、身体面に低下がみられます。地域包括支援センター等につなぎ、介護保険のサービスを利用する利用者も増えてきました。引き続き利用者の生活面や栄養面に気をつけ、必要時は関係者と連携しながら支援していきます。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（中間の作業は10時～16時）

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

15名・延べ1,560名

エ. 作業内容

請負作業：ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥系こんにやく袋詰め入れ

自主作業：うどん製造・販売/マスク作り

オ. その他

- ・地元の手話サークルに参加し、会員の皆さんと交流
- ・レクリエーション（料理・お花見・ジブリ展・スポーツ・BBQ・いちご狩り・チキンラーメン）
- ・ニうえるフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（兵庫県淡路島）
- ・見学（神戸長田ふくろうの杜）
- ・障害者虐待対応力向上研修 B 研修

公-2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 火、水、木、金、土 午前9時～午後6時

1. 意思疎通支援事業

(1) 手話通訳者養成研修事業

ア. 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
通訳Ⅰ	5/9~1/23(火)	36	20名(19名)	加古川市
通訳Ⅱ	5/11~1/18 (木)	34	12名(11名)	伊丹市
通訳Ⅲ	5/26~9/8(金)	11	13名(12名)	三木市

手話通訳者・要約筆記者養成強化事業（手話通訳）

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
通訳Ⅲ	1/17~3/27 (水)	11	6名(4名)	三田市

イ. 兵庫県手話通訳者認定試験

手話通訳者全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施した。

兵庫県	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率	試験委員	採点委員	要員数
	119名	10名	109名	13名	11.93%			
全国	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率			
	1779名	89名	1690名	256名	15.15%			

(2) 要約筆記者養成

ア. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座パソコンコース及び要約筆記者養成講座（各市町主催の講座を含む）修了者対象にフォローアップ講座を実施した。また聴覚障害者情報文化センター主催の要約筆記者指導者養成研修に受講者1名を推薦した。

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
要約筆記者養成講座 手書きコース（PC コース修了者対象）	6/9~9/22(金)	14回 (3H/回)	11名 (10名)	三田市
要約筆記者養成講座 PCコース	5/13~ 12/16/(土)	30回 (3H/回)	12名 (10名)	神戸市

要約筆記フォローアップ講座	1/6、13、20、27、2/3（土）	合同1回 手書き4回 PC3回	60名	情報センター
要約筆記者指導者養成研修	基礎研修コース ①6/30～7/1 ②8/19～8/20 ③10/7～10/8 ④11/3～11/4	2日間× 4クール	1名	① オンライン ②④東京都

イ. 手話通訳者・要約筆記者養成強化事業（要約筆記）

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座を実施した。

内容	実施期間	回数	受講者数 (内:修了者)	場所
要約筆記者養成講座 パソコンコース	5/13～ 12/16(土)	30回 (3H/回)	12名 (10名)	神戸市

(1) 月ごとの通訳センター登録状況

ア. 手話通訳

兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者（手話通訳士かつ協会認定を受けた者、協会認定のみの者）

手話通訳士有資格者、兵庫県認定手話通訳者（全国統一試験合格のみの者）

登録者総数：318名（令和6年3月31日現在）（単位：名）

地域名	協会認定	通訳士	県認定のみ	合計
神戸市	19	31	37	87
阪神南	8	8	22	38
阪神北	11	13	27	51
東播磨	5	7	27	39
北播磨	2	8	19	29
中播磨	8	2	16	26
西播磨	1	3	9	13
但馬	0	3	7	10
丹波	1	1	10	12
淡路	4	1	5	10
県外	0	0	6	6
合計	59	77	185	321

※通訳士の数の中に協会認定は含まない

イ. 要約筆記

登録者総数149名（令和6年3月31日現在）

全国統一要約筆記者認定試験合格者を登録（単位：名）

地域名	手書き	PC	両方	合計
神戸	6	10	11	27
阪神南	9	12	5	26
阪神北	5	21	14	40
東播磨	4	6	5	15
北播磨	2	8	5	15
中播磨	6	3	2	11

西播磨	1	0	0	1
但馬	2	3	0	5
丹波	1	4	1	6
淡路	2	1	0	3
合計	38	68	43	149

(2) 現任研修会

ア. 手話通訳

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本		[基本研修] 登録者対象 情報センターの概要・ひょうご通訳 センターの運営・派遣事業の概要・報 告書の書き方・その他		動画視聴	36分
技術	6/3 (土)	「読み取り研修」	14名	情報センター	2h/回
	6/28 (水)	「読み取り研修」	16名	情報センター	2h/回
	7/22 (土)	「読み取り研修」	18名	情報センター	2h/回
	8/4 (金)	「聞き取り研修」	13名	情報センター	2h/回
	9/2 (土)	「聞き取り研修」	16名	情報センター	2h/回
	10/7 (土)	「聞き取り研修」	19名	情報センター	2h/回

イ. 要約筆記

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本	4/22(土)	新任研修(派遣事業のオリエンテー ション)	12名	情報センター	2h
技術	5/17(水)	パソコン要約筆記の導入研修	10名	情報センター	3h
技術	6/10(土)	手書き要約筆記の導入研修	11名	情報センター	2.5h
技術	7/13(木)	手書き要約筆記の実技研修「全体投 影」	12名	情報センター	3h
技術	9/14(木)	現場実習(利用者向け勉強会～オン ライン会議の機材設営実習)	10名(パソコン6名 /手書き4名)	情報センター	5h
技術	3/14(木)	要約と検証の実習&ディスカッショ ン	20名(PC15名 手書き5名)	情報センター オンライン	2.5h
その他	6/15(木)	パソコン要約筆記者練習会 (登録者の他、要約筆記者養成講座 パソコンコース修了者も対象に 実 施)	19名	オンライン	2.5h
	8/17(木)		13名	オンライン	2.5h
	10/19(木)		10名	オンライン	2.5h
	12/21(木)		13名	オンライン	2.5h

ウ. 手話通訳・要約筆記合同

種別	日時	研修内容	受講者数			場所	時間
			手話	要約	両方		
知識	4/6 (木)	情報保障者のための要約	70名	44名	3名	情報センター・オンライ ン	2h

(3) 兵庫県公費派遣

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	7	2	7	2	4	6	9	1	4	4	2	51
人数	6	18	4	19	5	10	19	20	2	12	9	4	128

※キャンセルを含む（1件）

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	9	8	13	7	6	6	4	3	6	7	11	84
人数	11	33	21	40	22	17	22	14	4	16	22	37	259

※キャンセルを含む（4件）

(4) 市町村公費広域派遣調整ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	55	62	66	78	81	60	73	65	72	54	60	62	788
人数	66	80	81	102	92	73	89	84	93	71	84	82	997

※内、県外広域派遣による差額補填件数48件

※キャンセルを含む（40件）

(5) 兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	6	1	4	4	6	8	13	10	4	11	8	75
人数	0	20	1	10	11	15	18	22	25	10	30	16	178

※キャンセルを含む（7件）

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	10	14	28	29	28	24	21	31	29	25	28	21	288
人数	12	21	54	61	59	48	44	53	71	61	51	39	574

※内、県外広域派遣による差額補填件数2件 ※キャンセルを含む（28件）

ウ. 内容別件数

	手話通訳		要約筆記		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
医療	407	414	25	25	432	439
権利義務	17	24	6	16	23	40
福祉	2	4			2	4
労働	19	20	9	18	28	38
住居					0	0
司法					0	0
教育	20	32	3	5	23	37
育児	1	1			1	1
生活	44	58	4	6	48	64

生涯教育	2	3	13	20	15	23
社会活動	222	345	63	106	285	451
行事	44	84	159	371	203	455
難聴者の会			5	5	5	5
その他	10	12	1	2	11	14
合計	788	997	288	574	1,076	1,571

工. 依頼元別件数

	市町名	手話通訳		要約筆記		地域計			市町名	手話通訳		要約筆記		地域計				
		件数	人数	件数	人数	件数	人数			件数	人数	件数	人数	件数	人数			
	神戸市	40	41	2	2	42	43		姫路市	21	22			39	53			
阪神南	尼崎市	99	110	4	5	121	147	中播磨	神河町	1	3							
	西宮市	8	13	9	16				市川町									
	芦屋市			1	3				福崎町	15	26	2	2					
	伊丹市	12	12	25	41				149	200	西播磨	相生市	10	21	5	19	209	417
宝塚市	29	36	2	4	たつの市	12	16	10				39						
川西市	3	5	9	15	赤穂市	66	100	5				18						
三田市	62	69	1	2	宍粟市	42	53	53				137						
猪名川町	6	8	5	14	太子町	1	2											
上郡町	2	4	2	7	佐用町	1	1											
東播磨	明石市	45	61	10	16	153	192	但馬	豊岡市	9	9	18	33	59	91			
	加古川市	25	28	11	13				養父市	4	7							
	高砂市	16	18	11	14				朝来市	1	1	3	12					
	稲美町	2	2	4	5				香美町	2	4	1	4					
	播磨町	7	8						新温泉町	21	21							
	淡路3市	22	27						丹波	丹波篠山市	8	12					28	44
	北播磨	西脇市	5	10	8					15	232	326	丹波			丹波市		
三木市		20	32	56	81	県外	37	37		50				2	2	39		
小野市		22	34	8	12	遠隔通訳	0	0	0	0				0	0			
加西市		23	26			合計	788	997	288	574				1076	1571			
加東市		33	36	17	34													
多可町		39	42	1	4													

(6) けいわん検診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

ア. けいわん検診実施状況

- ①神戸会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
 - 6月15日（木）10：00～12：00 受診者25名
 - 6月22日（木）10：00～11：15 受診者18名
- ②丹波会場：丹波市立氷上住民センター
 - 6月30日（金）13：00～15：30 受診者24名
- ③川西会場：キセラ川西プラザ

7月4日(火) 10:00~13:00 受診者30名

④高砂会場：高砂市ユーマイ福祉交流センター

7月6日(木) 11:00~16:15 受診者40名

イ. 検診結果

判定結果	人数
A： 健常期	48
B1：疲労期	60
B2：初期	12
B3：顕性期	4
C： 重症・遷延期	0
※棄権者	0
計	124

(7) 各担当者会議、研修会

ア. コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催した。

日時：10月18日(水) 13:30~16:30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・オンライン

内容：講演「コーディネーターの役割と心構え」)

講師：大阪ろうあ会館 福祉事業部

手話通訳派遣 主任 西川三枝子氏

出席者：48名（1県・24市町・6事業所）

イ. 意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日時：8月24日(木) 13:30~16:30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・オンライン

内容：情報共有・意見交換（日常生活用具実態調査より・ひょうご通訳センター事業・養成講座等）

出席者：63名（1県・31市町・4事業所）

ウ. 設置手話通訳者会議

日時：1月18日(木) 13:30~16:00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・オンライン

内容：講演「兵庫県におけるユニバーサルツーリズムの推進について」

講師：兵庫県産業労働部観光局観光振興課、兵庫県まちづくり部都市政策部

出席者：15名（ZOOM）

エ. 要約筆記コーディネーター情報交換会

日時：①7月19日(水) ②2月21日(水) 13:30~16:30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・オンライン

内容：養成・研修・派遣について

出席者：①31名（16市町・5団体） ②20名（10市町・5団体）

2. 相談支援事業

(1) ろうあ者・難聴者相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
神戸市内	5	3	5	5	5	2	9	9	8	6	2	6	65
神戸市外	0	2	0	0	2	3	1	3	2	3	2	1	19
移動相談	—	—	—	—	—	—	—	—	北神戸	西宮	播磨	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	0	—	2
合計	5	5	5	5	7	5	10	12	11	10	4	7	86

イ. 相談内容

- ・コロナ禍が明け、少しずつ来談者が戻りつつある。
- ・情報格差が招くトラブル、病識の低さが招く課題など
- ・制度内容の説明・手続き支援、求職支援など

ウ. 「聴覚障害」の理解セミナー

相談員3名が講師を務め、手話通訳者1名とともに講義・進行を行う。地域で福祉関係従事者を対象に実施。講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。

日程	時間	場所	受講者数
12/8(金)	13:30～16:00	(神戸市北区)北神中央ビル7階702号室	7名
1/19(金)	13:30～16:00	西宮市山口公民館 第1集会室	3名
2/16(金)	13:30～16:00	播磨町役場 第1庁舎3階BC会議室	7名

(2) 聞こえの相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
コミ相談	12	10	11	5	14	13	17	18	12	15	11	8	146
機器相談	2	2	0	0	1	2	1	7	4	2	0	3	24
合計	14	12	11	5	15	15	18	25	16	17	11	11	170

(3) こころの相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
神戸市内	2	1	2	3	1	3	4	1	0	1	0	1	19
神戸市外	9	11	12	10	7	11	15	7	9	6	4	5	106
合計	11	12	14	13	8	14	19	8	9	7	4	6	125

※はりまふくろうの家1回/年（8件） 出向した。

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

(1) コミュニケーション教室

地域別	開催地	日程	内容	回数	講師	受講者数	場所
神戸	神戸市	4/15、22、 5/13(土)	読話	3	岡恵子氏	19名 (延べ49名)	情報センター

		5/20、6/10、17 (土)	手話	3	石井加代子氏	18名 (延べ43名)	情報センター
阪神	西宮市	7/8、22、8/12、(土)	手話	3	庄司美絵氏	10名 (延べ30名)	西宮市中央公民館
	芦屋市	1/4 (日)	読話	1	岡恵子氏	22名	芦屋市保健福祉センター
阪神北	猪名川町	10/1、29、11/5 (日)	手話	3	浅井直美氏	17名 (延べ49名)	猪名川町中央公民館
	川西市	1/20、27、2/10 (土)	手話	3	浅井直美氏	16名 (延べ40名)	川西市総合センター
西播	宍粟市	11/12 (日)	読話	1	岡恵子氏	15名	宍粟防災センター

(2) 難聴者のための手話教室

開催時間：13：30～15：30 会場：情報センターサロン室

内容		日時	講師	受講者数
初級	水曜コース	7/12、26、8/9、23、9/13	庄司美絵氏	11名 (延べ43名)
	土曜コース	7/1、15、29、8/26、9/2	加藤めぐみ氏	11名 (延べ39名)
中級	水曜コース	10/11、25、11/8、22、29	阪倉智永子氏	6名 (延べ29名)
	土曜コース	10/7、14、28、11/11、25	太田稔氏	12名 (延べ44名)
上級	土曜コース	1/13、20、27、2/3、17	仲光恵氏	9名 (延べ29名)
	講師と交流会	3/9	全講師	3名

4. ろうあ者社会生活教室

日 時	内 容	参加者数	場 所
7/23 (日) 10：00～12：00	ひょうご手話フォーラム 「手話言語は生きる権利」 講師：アルナス・ブラジンスカス氏 (リトアニア手話言語通訳センター副所長)	32名	こうべまちづくり会館
9/3 (日) 10：00～12：00	女性セミナー 「優生保護法と私の思い」 講師：吉野幸代氏 (一般財団法人全日本ろうあ連盟理事)	48名	あすてっぴ神戸
2/24 (土) 13：30～16：00	ひょうご労働・福祉2023 「能登半島地震による被害状況について」 講師：藤平淳一氏 (一般財団法人全日本ろうあ連盟理事)	31名	兵庫県立のじぎく会館
9/18 (祝) 13：00～15：00	こうれいしゃ講演会 「ろうあ高齢者の暮らしと福祉」 講師：山東浩司氏 ((一社)和歌山県聴覚障害者協会高齢部)	64名	神戸市障害者福祉センター

7/30 (日) 10:00~12:00	青年部&スポーツ部 「チェスを楽しもう 体験してみませんか」 講師：岡田 充弘氏	16名	神戸市立総合福祉センター
2/17 (土) 14:00~16:00	第27回ろう教育学習会 「一人ひとりのきこえない・きこえにくい子どもが輝いて」 講師：石橋大吾氏（鳥取県聴覚障害者協会事務局長）	58名	神戸市中央区文化センター

5. 難聴者教室事業

(1) たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日 時：3月9日（土）14:00~15:30

場 所：豊岡市民プラザ 市民活動室D

参加者：5名（聴覚障害者4名手話サークル員1名）

内 容：豊岡市出前講座 テーマ「知って得する消費者問題～悪質な業者から身を守るために」座談会

(2) 手話歌を楽しもう

日 時：年間5回 水曜13:30~15:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報サロン室

講師は難聴者。様々な情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。

日程	内容	参加者数
5/10	「ピクニック」「この道」クイズ、交流	11名
8/2	「我は海の子」「線路は続くよどこまでも」クイズ、交流	11名
10/4	「ドレミの歌」「小さい秋 見つけた」クイズ、交流	6名
12/6	「シングルベル」「上を向いて歩こう」クイズ、交流	9名
2/7	「みかんの花咲く丘」「雪」クイズ、交流	7名

(3) 読話サークル「ひまわり」

日 時：年間4回 水曜13:30~15:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報サロン室

講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。

日程	内容	参加者数
6/7	スマホの話、色カード、都道府県名、	3名
9/6	語想起、文章の穴埋め、地図	3名
1/10	映画の話、詩、地図	3名
3/27	中止	0名

※3月は、欠席が相次ぎ中止

(4) 手芸サークル

日 時：毎月第3水曜13:30~15:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報サロン室

講 師：中途失聴・難聴者2名。手話・要約筆記ボランティアスタッフを配

置。 製作品：パッチワーク、キャラクター手芸品など

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

6. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会

会 議：8/12（オンライン）

目 的：難聴・要約筆記の4団体（（特）兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と情報センターで、兵庫県内全域の難聴者福祉を理解し、考えることが目的。

内 容：要約筆記検討会と合同で実施。情報交換、課題共有を行った。

【家庭部会】

会 議：5/19、6/16、7/7、11/9、1/26

内 容：①要約筆記の説明動画編集・Youtubeチャンネルに投稿

②聴覚障害児とママ&パパ交流会への協力

要約筆記体験、説明、OHCを用いたカルタ大会

③要約筆記派遣利用啓発ポスターの配付

以前、県難聴で作成したものを修正し、市町にメール配布。区に郵送。

【社会生活部会】

会 議：6/6、6/29（発送作業）、11/10、1/23、2/22、3/8

内 容：①リーフレット（「聞こえ」への配慮はできていますか？）の配付

公立（幼・小・中・高・特支）、私立（小・中）に配付（公立：7月・私立：2月）

県/都市政策課が行うバリアフリー公表制度のヒアリング時に配付（2月）

②ヒアリング対応・団体協力

県/都市政策課：バリアフリー公表制度について

県/防災対策課：県難聴へのヒアリングに協力

③取り組み

・Google mapの作成 ・ピクトグラム「日本語字幕」の協議

【労働部会】

会 議：5/25、6/17、7/1、8/13、10/20、11/10、12/9、1/27、2/24、3/23

訪 問：労働局 8/21（聴覚障害者2名、聴者5名）

来 訪：高齢・障害・求職者雇用支援機構 8/25（聴覚障害者2名、聴者4名）

企 画：第5回 労働懇談会

内 容：第1部：講演「職場における困りごととは～聴覚障害者の心理的側面～」

第2部：グループディスカッションの役割と技法

日 時：12月17日（日）13：00～16：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター会議室、サロン室、IT室

参加者：申込者18名 参加者13名（集會式）

(2) 第19回聴覚障害者文化祭

日 時：10月28日（土）

参加人数：600名

(3) 聞こえの懇談会

中途失聴・難聴者、聞こえに悩む人々を対象に、聞こえに関する情報提供、仲間の存在を知ること、精神的なリハビリテーション（障害の受容）等を通して、耳の不自由を克服して豊かな人生を過ごせるよう相互交流を図ることを目的に、県下2か所で開催した。

日 時：①9月30日（土） ②11月11日（土）13：00～16：00

会 場：①宍粟防災センター ②芦屋市保健福祉センター

内 容：座談会形式で一人ひとりの悩みを聞き出しアドバイス、質疑応答、難聴者の体験談など

進行担当：特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会

参加者：①24名 ②24名

(4) 聴覚障害児とママ&パパ学習会

日 時：8月8日（土）9：45～15：30

会 場：オンライン+兵庫県立聴覚障害者情報センター研修室

内 容：①『片耳難聴・軽中等度難聴への理解と支援』

～発達の縦軸と社会の横軸を見据えて～

京都光華女子大学 医療福祉学科 言語聴覚専攻准教授 高井小織先生

参加者：会場参加 16家族（キャンセル2家族）その他3名）

オンライン視聴（情報保障者36名、教育関係者9名、福祉関係従事者2名、
保護者9名、聴覚障害の保護者3家族）最大同時接続56

7. 聴覚障害者災害対応訓練事業

①様々な気象災害に備えて、聴覚障害者と聞こえる関係者も対象に、神戸地方気象台の方から気象に関するお話を聞いて一緒に学べる学習会を開催した。

日 時：10月9日（祝・月）13：30～15：30

会 場：情報センター会議室 及び Zoom

参加者：会場75名 Zoom 68名

講 師：神戸地方気象台 防災気象官 天野 智裕 氏

内 容：「お天気のお話」～気象災害に備えて～

②行政関係者を対象に情報が届きにくい方々に分かりやすく緊急情報を伝えるためにできることを考える防災学習会をオンライン形式（Zoom）で開催した。

日 時：11月16日（木）14：00～16：00

参加者：28市町 50名

内 容：講義1「外国人の方々を対象とした情報発信の取組について」

講義2「聴覚障害の特性や情報受信の課題等について」

講義3「わかりやすい災害情報のあり方を考える」

8. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。

9. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター、要約筆記表示用パソコン等の情報機器の貸出を行った。

10. 字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。

任期満了作品の処分と新規作品の追加作業を実施しました。（年間貸出し本数：25本）

11. IT機器活用研修事業

（1）パソコン相談

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催した。

ア. パソコン相談（平日）

日 時：随時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター I 室対応者：職員

件 数：32件

イ. パソコン相談（土曜）

日 時：毎月1回、第3土曜日を基本に調整

(8/12、9/2、10/5、10/12、10/26、11/18、1/20、2/10、2/24)

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター IT室

対応者：PC相

談件 数：18
件

ウ. 但馬地域パソコン相談

日 時：第2土曜日、第4土曜日を基本に調整（13：00～17：00 予約制）

（7/29, 8/5, 9/9, 10/14, 11/18、

12/9）場 所：たじま聴覚障害者センター

対応者：聴覚障害者相談員

件 数：6件

エ. パソコン・スマートフォン相談会・IT相談会（予約制・個別対応）

日時	内容	参加者数	場所
10/28(土) 10:00～16:00	スマホ無料相談会 ～au Softbank～ パソコン・IT相談	22名	情報センター IT室

(2) IT学校及びパソコン講習会

聴覚障害者及び情報保障者向けにIT学校及びPC講習会を実施した。

日 時	内 容	参加者数	場 所
5/20、27、6/10、 17、24、7/8、15、 29(土) 13:30～15:30	なるほど！パソコン教室（前期）（土曜）	3名	情報センター IT室
6/8、15、22、7/6、 13、20、8/3、10(木) 10:00～12:00	なるほど！パソコン教室（後期）（木曜）	3名	情報センター IT室
8/26、9/2、9、16、 30、10/7、(木) 10:00～12:00	なるほど！パソコン教室（後期）（土曜）	3名	情報センター IT室
11/30,12/7,14(木) 10:00～12:00	Excel講座 「関数を学ぼう」 （中・上級者向け）	3名	情報センター IT室
7/8（土） 13:30～15:30	IT学校 第60講 「音声認識アプリを使ってみよう」 パート1	8名	情報センター 会議室
7/15（土） 13:30～15:30	IT学校 第61講 「音声認識アプリを使ってみよう」 パート2	12名	情報センター 会議室
8/10（木） 14:00～16:00	IT学校 第62講(兵庫県警合同) 「スマホ・パソコン安全講座」～インターネット で危ないことにまきこまれないために～	6名	中央区文化センター 会議室1102
9/9(土) 14:00～16:00	IT学校 第63講 「IT用語の意味を学ぼう」	7名	情報センター 会議室
12/16（土） 13:30～15:30	IT学校 第64講 「音声認識アプリを使ってみよう！」 第三弾（UDトーク実践編）	8名	情報センター 会議室
12/23（土） 13:00～15:30	「VBAプログラミング」って何？ （上級者向けIT企画）	6名	情報センター 会議室
1/20（土） 13:00～15:00	IT学校 第65講 「初心者向けスマホ講座」 ～便利機能体験～	8名	洲本市総合福祉会館 3階多目的ホール

(3) 聞こえる人向けIT講座及び研修会

日 時	内 容	参加者数	場 所
-----	-----	------	-----

1/12(金)、2/1(木)、 2/8(木) 10:00~15:30	「ITサポーター養成講座」 第3期生 聞こえる人向け2023年度	18名	情報センター 会議室・IT室 他
3/6(金) 10:00~15:00	「ITサポーター養成講座」 第3期生 現場実習	4名	情報センター 会議室・IT室
8/3、9/7、10/5 11/2、12/7(木) 13:30~16:30	ITサポーター1期生 研修会 OBS、YouTube、Zoom等の応用機能、 遠隔操作に必要な知識などを学習	8名	情報センター 会議室

(4) ITサポーター活動 遠隔講座開催協力及び課題検証報告

当センター登録のITサポーターの遠隔講座への派遣や防災学習会のリアルタイム配信などを行った。

各日、終了後には課題等の報告をし、今後につなぐための検討等も進めた。

日時	内容	参加者数	場所
8/29(火) 13:30~15:40	遠隔通訳体験会withたつの市 遠隔設営、配信及び スマホ操作サポート	5名	情報センター 会議室・遠隔ブース たつの市役所新館4F
10/5(木)、 10/9(月・祝) 10:00~18:00	防災学習会「お天気のお話」 聴覚障害者向け兼情報保障者研修 オンライン配信及び課題検証報告会	7名	情報センター会議室 Zoom
11/15(水)、 11/16(木) 10:00~18:00	行政職員向け防災学習会 オンライン配信及び課題検証報告会	6名	情報センター 会議室

1.2. 聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

(1) 聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸出しや関係機関、団体への配布等を行った。(ライブラリーでのDVD貸し出し)

No.	ビデオタイトル	時間	本数
1	神戸市ろうあ者市民講座③「私のライフヒストリー」仲井昭氏	96分	5
2	防災学習会「お天気のお話 ~気象災害にそなえて」 講演会 神戸地方気象台 防災気象官 天野智裕氏	103分	5
3	「私の歩んだ道」 ① 大塚 登代子氏	93分	5
4	「私の歩んだ道」 ② 小山 成人氏	81分	5
5	「私の歩んだ道」 ③ 山村 妙子氏	90分	5
6	「私の歩んだ道」 ④ 小林 實二氏	111分	5
7	「ヘレン・ケラー」ポップコーン専門店	10分	5
8	ココトモファーム店	11分	5
9	津波フラッグとは？	5分	5
10	南海トラフ巨大地震とは 1. 南海トラフ地震が起きるしくみ	5分	5
11	南海トラフ巨大地震とは 2. 南海トラフ地震と他の地震との違い	4分	5
12	南海トラフ巨大地震とは 3. 南海トラフ地震の被害想定	10分	5
13	南海トラフ巨大地震とは 4. 南海トラフ地震に関する情報とは？	8分	5
14	南海トラフ巨大地震とは 5. 長周期地震動とは	5分	5

15	台風のことを学びましょう①「台風とは？」	6分	5
16	台風のことを学びましょう②「台風がもたらす災害は？」	8分	5
17	台風のことを学びましょう③「自分で行う災害への備え」	5分	5
18	第50回 兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	77分	5

(2) 聴覚障害者向けビデオの公開収録

ビデオ自主制作にあたり、関係者に広報して、公開収録を行った。

日時	内容	参加者数	場所
8/30(水) 13:30~15:30	DVD「私の歩んだ道」公開収録 大塚登代子さん	15名	情報センター 会議室
9/8(金) 13:30~15:30	DVD「私の歩んだ道」公開収録 小山 成人さん	18名	情報センター 会議室
9/27(水) 13:30~15:30	DVD「私の歩んだ道」公開収録 山村 妙子さん	17名	情報センター 会議室
10/26(木) 13:30~15:30	DVD「私の歩んだ道」公開収録 小林 寛二さん	18名	情報センター 会議室

(3) 関係団体及び行政機関等との合同制作及び外部団体からの制作依頼協力

No.	タイトル	時間
1	ひょうご手話フォーラム2023	90分
2	手話動画「医療研修」	45分
3	手話言語の国際デー 手話配信	5分
4	2023年度統一試験学習会DVD	10分
5	手話言語の国際デー 収録	180分
6	第73回 近畿ろうあ者大会	180分
7	2023年度 兵庫県手話通訳者認定試験DVD	7分

(4) CS 障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行った。

No.	タイトル	時間
提供①	「ヘレン・ケラー」ポップコーン専門店 宍粟市	10分
提供②	沈黙の50年 制作現場から	10分

(5) 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。

No.	タイトル	時間
1	⑳手話動画 新型コロナウイルス 新型コロナが5類になると何が変わるの？	6分
2	大阪管区気象台長表彰贈呈（感謝状）	2分
3	優生保護裁判（2023. 7. 11）	7分
4	台風のことを学びましょう①「台風とは？」	6分
5	台風のことを学びましょう②「台風がもたらす災害は？」	8分
6	台風のことを学びましょう③「自分で行う災害への備え」	5分
7	「沈黙の50年 制作現場から」	12分
8	ポップコーン専門店「ヘレン・ケラー」	10分
9	旧優生保護法被害国賠訴訟2023. 3. 23	2分

10	ココトモファームの取り組み	11分
11	旧優生保護法被害国賠訴訟2021. 3. 25	5分

(6)「手話を学ぼうチャンネル」の配信

主に中途失聴者や聞こえる人を対象にしたチャンネル。

日常会話に必要な基本的な手話表現や聞こえない人からのお話を配信。今後も随時更新を行う。

No.	タイトル
1	指文字（50音）
2	挨拶の手話（14単語）
3	質問の手話（10単語）
4	聞こえない人とのコミュニケーション方法例やマナー（全2話） 1. 聞こえない人とのコミュニケーション方法 2. 聞こえない人とのコミュニケーション方法や接し方のマナーの紹介
5	聞こえない人からのお話（全15話） 1. 「聞こえない人は、朝起きるときやお客さんが来た時、どうするの？」 2. 「聞こえない人は、テレビをどうやって観てるの？」 3. 「聞こえないお母さんは、どうやって子育てしてるの？」 4. 「僕の友達に聞こえない子がいます。手話を学びたいけど どこで勉強するの？」 5. 「災害が起こった時、聞こえない人が困ることは何ですか？」 6. 「聞こえない人のオリンピックってあるの？」 7. 「聴導犬って何ですか？」 8. 「手話は世界共通なの？」 9. 「手話への理解は広がっていますか？」 10. 「買い物に行ったとき」 11. 「旅行について」 12. 「病院に行ったとき」 13. 「聞こえない人を呼ぶとき」 14. 「手話は聞こえない人の言語」 15. 「身振りや指さしについて」
6	防災に関する手話（全20単語） 1. 避難訓練（災害 消防 情報） 2. 助け合い（学ぶ 約束 経験） 3. 火事（できる 大切 守る 方法） 4. 津波（遠い ビル 防災訓練） 5. 避難所（手伝い 一緒 安全） 6. 準備物（準備 必要 連絡 地図）
7	防災絵本「地震が起きたら」(全6話) 第1話 避難訓練 第2話 助け合い 第3話 火事が起きた時の助け合い 第4話 津波が起きた時の方 第5話 避難所 第6話 地震がおきる前に
8	日常会話で使用する手話（全23本 115単語）

1 出版物等普及事業

1. 出版事業

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もなく、各地において講座が開催され、昨年度と比較して奉仕員テキストと通訳Ⅰのテキストの売上が約10%増えました。また昨年度に引き続き、ハンドブックシリーズが好調なので今年度も販売強化していききたいと思います。

今後も引き続き兵聴協独自出版物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしていきます。

令和5年度書籍売上（冊数）ベスト15（協会への預売・売掛も含む）令和6年3月31日時点

順位	品名	売上数	売上額
1	奉仕員テキスト	669	2,207,700
2	新しい手話2024	307	303,930
3	新たちゃんと学ぼう	255	56,100
4	標準手話ハンドブック慣用句の手話表現	250	137,500
5	国際手話ハンドブック 国名手話	208	114,400
6	標準手話ハンドブック 医療関連用語	151	83,050
7	MIMI182号	124	117,800
//	MIMI181号	124	117,800
8	MIMI180号	122	115,900
9	MIMI183号	119	113,050
10	通訳者講義テキスト改訂版	91	180,180
11	通訳Ⅰ 養成テキスト	67	206,360
12	新しい手話2022/23	62	61,380
13	私たちの手話学習辞典Ⅰ	48	137,280
//	防災・災害関連用語 標準手話ハンドブック	48	26,400
14	通訳Ⅱ 養成テキスト	47	144,760
15	国際手話ハンドブック第1巻	41	61,500

2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

(1) 販売事業

要約筆記用OHC ロール、補聴器電池、日聴紙バインダー
防災リュックサック

(2) 全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」関連グッズ プログラム

1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

(1) 統括

ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回のヘルパー会議時に行った研修会において知識を深めました。

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

- ・高齢者虐待防止法について ・接遇について ・倫理及び法令遵守について
- ・感染症、食中毒について ・個人情報保護法について
- ・認知症について ・緊急時の対応について など

利用者（個人情報保護に基づき、個人が特定されないように配慮）に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。また、外部講師を招いて「対人援助について」を学びました。ヘルパーとしての支援の流れを再度確認することができました。

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の新規依頼や、相談件数も増えました。契約し、ケアプランを作成する利用者だけでなく、介護保険制度について知りたい、申請方法を教えてほしいなどの相談支援にも対応しました。利用者の介護度の重度化、医療的ニーズの多様化もあり、ケアマネ自身の素質や幅広いコーディネートを求められるようになってきました。必要な研修（高齢者虐待防止法等）に加えて、オンライン研修や実技研修にも参加しました。

イ. 事業内容の検討

- ・ヘルパー依頼があっても登録ヘルパーの減少や他の仕事と兼務により依頼を受けることができないことがありました。利用者の依頼に応えられるような体制づくりに取り組みました。

(5) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援は、現在、神戸市・三木市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく予定です。

ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業（介護相談・ケアプラン作成・認定調査など）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ヘルパーの派遣）

イ. 障害者総合支援法

- ・居宅介護事業
- ・同行援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・行動援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・移動支援（地域生活支援事業） 対象市…神戸市、三木市、尼崎市

(3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・ケアマネ及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

(4) 居宅介護支援事業とヘルパー派遣（令和6年3月末現在）

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の担当利用者数は61名（介護予防含む）の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援を行いました。認知症や終末期医療などで医療度の高い利用者の対応の時には、当センターだけでは対応が困難です。緊急で相談や支援の体制が図れるようにネットワークを作り、連携を図りました。必要に応じて、地域のろうあ協会や、相談員、インフォーマルな支援者にもチームに入っ

ていただきました。他の訪問介護事業所や訪問看護事業所、施設などの職員から、手話を教えてほしい、コミュニケーション方法について相談に乗ってほしいなどの相談を受ける事も増えました。事業所内で手話の学習会が開催されたり、訪問看護師が手話奉仕委員養成講座を受講するなど、介護支援を通じて手話の普及や、高齢聴覚障害者の理解が広まったと感じています。情報交換、情報共有を行ったことにより支援がスムーズになったこともありました。今後も利用者が安心して、住み慣れた地域で生活ができるように支援していきたいと思っています。

ヘルパー派遣は、訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にヘルパーを派遣しました。

ヘルパーについては、土日祝日の利用希望がありますが、すべてに対応することが困難です。登録ヘルパーから土日祝日の介護センターへの連絡体制等について意見もあり対策を講じて対応していますが、登録ヘルパーだけでの対応は難しく土日祝日は職員の訪問時間も増えています。

移動支援については社会参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう努めました。支援していきます。

ア. 利用地域（令和6年3月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町、伊丹市、川西市、加古川市

イ. 介護保険利用者数（令和6年3月末現在）※ヘルパー事業

要支援1： 1名（令和5年度 2名）
要支援2： 3名（令和5年度 0名）
要介護1： 6名（令和5年度 13名）
要介護2： 5名（令和5年度 4名）
要介護3： 1名（令和5年度 1名）
要介護4： 0名（令和5年度 1名）
要介護5： 1名（令和5年度 1名）
合計 17名（令和5年度 22名）

介護保険利用者数（令和6年3月末現在）※居宅介護事業（ケアマネ）

要支援1： 11名（令和5年度 9名）
要支援2： 6名（令和5年度 4名）
要介護1： 17名（令和5年度 16名）
要介護2： 13名（令和5年度 11名）
要介護3： 6名（令和5年度 4名）
要介護4： 5名（令和5年度 5名）
要介護5： 3名（令和5年度 1名）
合計 61名（令和5年度 50名）

ウ. 障害サービス利用者数（令和6年3月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分1： 1名（令和5年度 1名）
区分2： 2名（令和5年度 2名）
区分3： 5名（令和5年度 4名）
区分4： 0名（令和5年度 0名）
区分5： 0名（令和5年度 0名）
区分6： 0名（令和5年度 0名）
合計 8名（令和5年度 7名）

移動支援サービス利用者（令和6年3月末現在）

※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む

神戸市：2名（令和5年度 3名） 三木市：1名（令和5年度 1名）

尼崎市：1名（令和5年度 1名）

エ. ブロック別利用者数（令和6年3月末現在）

・介護保険（ケアマネが担当しているブロック）

阪神10名、神戸41名、東播7名、西脇2名、北播0名、丹有0名、但馬1名 合計61

・介護保険（ヘルパーが訪問しているブロック）

阪神0名、神戸14名、東播2名、西播0名、北播0名、丹有0名、但馬1名 合計17名

・障害サービス（家事援助・通院介助）

阪神2名、神戸5名、東播0名、西播0名、北播1名、丹有0名、但馬0名 合計8名

・移動支援サービス

上記記載

オ. ヘルパー派遣時間

令和4年度 介護保険・・・・・・・・3904時間00分

障害福祉支援・・・・・・・・628時間15分

地域生活支援事業・・・・138時間25分

令和5年度 介護保険・・・・・・・・2675時間36分

障害福祉支援・・・・・・・・836時間05分

地域生活支援事業・・・・186時間05分

1. 青年部

(1) 総括

1. 3本柱に基づいて活動をしていこう！

(仲間づくり)

2023年度は「第34回兵庫県ろうあヤングレクリエーション」「第42回兵庫県ろうあ青年研究討論会」「N-Action 合同学習会」を開催し、仲間づくりの場を作ることができました。

「第51回近畿ろうあ者体育大会 in 滋賀」では兵庫県としてチームを2つ作って出場し、近畿6府県の青年たちと交流を深めることができました。兵庫県ろうあ者新年大会兼成人お祝いのつどい in 三田では4名の新成人をお祝いし、新成人2名が新たに会員に入り、仲間を増やすことができました。

(学習づくり)

役員として兵聴協幹部研修会や第14回西日本エリア幹部研修会に参加し、知識を深めました。

(要求づくり)

ふくろうカレンダーの購入を通してひょうご聴障ネットの運営に協力していきました。

2. ろうのこども達と関わろう！

2023年度は「ろう子どもふれあい企画」を兵庫県ろうあヤングレクリエーションと統合しました。

最初は緊張しているこどももいましたが、バーベキュー交流を通して次第に打ち解け、交流を深めることができました。

3. 発信力を高めていこう！

新たにInstagramを開設し、手話言語による動画や写真投稿を通して青年部のアピールができました。

4. 外部団体と繋がろう！

N-Action ひょうごと共催で、青年部からは中村青年部長、N-Action ひょうごからは代表の藤井氏による「青年部とは？N-Action とは？」というテーマで学習会を開催しました。参加者にはお互いの団体の新規会員もあり、私たちの活動について知っていただくことができました。

5. 兵聴協青年部創立50周年記念を祝う準備を進めよう！

青年部としてのお祝いはできませんでしたが、(公社)兵庫県聴覚障害者協会創立50周年記念パーティに参加しました。

(2) 事業経過報告

日程	内容	開催地	参加者数
令和5年			
4月2日	第15回(公社)兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	8名
7月1日	第34回兵庫県ろうあヤングレクリエーション	神戸	12名
7月30日	青年講座(社会生活教室 ※スポーツ部と共催)	神戸	16名
9月17日	第42回兵庫県ろうあ青年研究討論会	赤穂	30名
令和6年			
2月12日	青年のすゝめ(N-Action ひょうご交流企画)	神戸	12名

2. 女性部

(1) 総括

2023年度は、第12回女性部定期総会・社会見学&デフ女子会・第53回近畿ろうあ女性フォーラム・社会生活教室女性セミナー・女性部会を開催しました。コロナ感染対策が解除され

ました。今年も女性会員の皆様と対面の交流ができました。活動の活発化につながる為に対面交流が大切と痛感しました。

ア. 第12回定期総会

女性部会委員の出席は43名の委員のうち出席17名、委任23名欠員2名、無効1名という状況でしたが、とても活潑な意見交換がありました。協会の中に女性部がないところが更に増えており、委員選出のあり方を改めて見直していく必要があることを確認しました。定期総会、女性部会は各地の要望、意見を出し、情報交換ができる場です。地元から1名は優先に出席して頂きたいと思っております。

イ. 社会見学&デフ女子会

兵庫県立兵庫津ミュージアムは最初の県庁舎を復元した初代県庁館、博物館施設であるひょうごはじまり館の2館からなるミュージアムを見学しました。復元した初代県庁館ではガイド解説があり2グループに分けることで手話通訳者4名お願いしました。狭いところでは通訳が見づらい面もありましたが、楽しくガイド解説が聞けました。ただ、ガイドさんにも、聴覚障害者への配慮を説明が必要だなと思えました。例えば、通訳の為間をおいてほしいとかなど。ひょうごはじまり館では目で見て楽しめる展示とひょうごダイナミックシアターは字幕がない為、字幕プロジェクターが置かれました。映し出された字幕の位置や誰がしゃべっているか分かりにくいところがあり改善の意見を出しました。午後は3年ぶりのデフ女子会を神戸駅近くのジュラクホテル 1階カフェでランチを美味しく頂き、きこえない人ときこえる人と楽しく交流ができました。

ウ. 社会生活教室「女性セミナー」

全日本ろうあ連盟理事で福祉・労働委員会委員長の吉野幸代さんをお招きして「優生保護法と私の思い」というテーマでご講演をしていただきました。ご自身の周りでその苦しみを聞いた経験を話され、原告がなかなか増えないのはなぜか、被害をうけたろう高齢者への支援をどのようにしていくかを一緒に考えていきましょう。分かりやすく女性としての視野でお話されたので好評でした。当日は会場の変更がありました事を書面にしてお詫び申し上げます。

エ. 兵庫県ろうあ女性のつどい

第53回近畿ろうあ女性フォーラム開催の為、休止しました。

エ. 女性部会

神戸市立東部在宅障害者福祉センターで各地域代表の女性部会委員が集まり2024年度の行事に対する要望や意見を話し合いしました。女性会員の高齢化と減少が進み、ろうあ協会本部に統合された地域もあり、規約の見直しと県女性部からの連絡方法など話し合いしました。

オ. 大学習会(近畿ろうあ連盟女性部)

前全日本ろうあ連盟福祉・労働委員会の労働専門委員の岩山誠氏から「差別に立ち向かってきた私の人生～これからのろう運動に向けたメッセージ～」のテーマで講演がありました。厚生労働省に入省し、ハローワークで聞こえない人の就労支援携わり聴覚障害者の就労支援事業の調査の為にイギリス留学をし、そこでイギリスから近いフィンランドやノルウェーの

就労状況も勉強して、就職活動における壁などご自身の経験のうえで法制度による保護の必要性を世界各国の就労事情の中からその思いを強くしておられます。

カ. 第53回近畿ろうあ女性フォーラム

久しぶりに兵庫が当番にあたり、神戸と尼崎の協力を得て、無事に開催できました。感謝申し上げます。報告書の配布が遅くなり申し訳ありません。

キ. 第53回全国ろうあ女性集会

10月20日(金)～22日(日)茨城県水戸市で兵庫から4名参加。茨城県水戸市で開催されました。三重県集会に続いて盛大な集会でした。記念講演「手話に支えられて手話で支えて手話で支え合って～わが人生と手話～」講師の聴力障害者情報文化センター施設長 森せい子さんは手話通訳活動をしているうちにご自身が失聴されました。7年前に59歳で急逝された小海秀純さんが兄であり、聴覚障害者支援に力を注いでいる、うしろ姿を追っていろいろな面で大きな影響を受け、今の自分があるとの話でした。今回は岡山県倉敷市で開催です。

ク. 第50全国ろうあ女性研修会

埼玉県さいたま市で開催されました。第1部「青天を衝け～渋沢栄一のまなざし～」講師は埼玉県立文書館の元館長杉山正司さんより、渋沢氏は自分だけが幸せになるのではなくみんなが幸せにならないと国は富まないと福祉・教育・文化に力を注ぎました。なお2024年7月から新1万円札の顔になります。第2部「女性アスリートから見たデフリンピックの可能性」講師はスポーツファーマシストでデフリンピック3大会連続メダリストの早瀬久美さんよりファーマシストとは薬剤師のことでスポーツがつくとアンチドーピングの管理をする資格であり自国での管理だけでなく開催地で抜き打ちの聴力検査で不正を防止し金儲けに繋がらない環境を作る為に頑張っていること。第3部は全国委員会からの報告と情報交換でした。

事業経過報告

4月16日(日)	第12回定期総会	中央文化センター	17名
5月7日(日)	社会見学「兵庫県兵庫津ミュージアム」	神戸市	26名
	デフ女子会	ジュラクカフェ	22名
9月3日(日)	社会生活教室 2023年度女性セミナー	神戸市	48名
1月21日(日)	女性部会	東部在宅障害者センター	17名

近畿ろうあ連盟女性部

4月23日(日)	代議員会	大阪市立大淀コミュニティセンター	5名
6月24日(日)	座長・助言者・通訳者・記録者事前打合せ	尼崎市立小田北生涯学習プラザ	5名
7月8日(土)	大学習会	神戸市立婦人会館(さくら)	35名
7月9日(日)	第53回近畿ろうあ女性フォーラム	尼崎市立小田北生涯学習プラザ	111名

全日本ろうあ連盟女性部

10月20日(金)～10月22日(日)	第53回全国ろうあ女性集会	茨城県水戸市	4名
1月27日(土)	第48回全国委員会	埼玉県さいたま市レイボックホール	1名

3. 高齢部

(1) 総括

ア. 社会見学 7月13日(木) 参加者38名 場所：淡路花さじき

あわじ花さじきで見学、御食国で昼食、パルシェ香の館にてジェルキャンドル作りの体験をしました。全国的に大雨警報が出ていましたが、淡路で良い天気にも恵まれました。明石に到着したとたん凄雨が降りましたが参加者にけがもなく無事に終わることができました。

イ. 第18回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会 10月29日(日)

場所：姫路さるびあドーム 参加者32名

暑かったり寒かったりと10月末とは思えない天候でしたが、年齢に関係なくプレーしながら交流を深める事が出来ました。

ウ. 「社会生活教室」2023年度こうれいしゃ講演会 参加者64名

「ろうあ高齢者の暮らしと福祉」のテーマで和歌山の山東浩二氏に現在の介護保険の制度や将来の見通しなどについてわかりやすく話して頂きました。

エ. 第37回兵庫県ろうあ者敬老会

最年長の90歳をはじめ長寿の会員13名が出席されました。

インタビューでは趣味や生きがいについて話しされ、ひらがなで2文字・3文字の県名や野菜の名前出していくゲームをやりました。近年はコロナ禍や台風接近で中止が続いていたので、無事に開催することができ、うれしく思いました。

オ. 2023年度1泊2日旅行会

観光バスの定員40名を満たせず、物価値上げでバス代金も上がり、中止を考えましたが、4回目の中止にしないため、電車による1泊旅行に変更しました。おごと温泉で一泊して、翌日は近江八幡市立資料館の見学、和船での八幡堀巡りや近江八幡う・コリーナでの買い物を楽しみました。

やはりバスの方が良いという声が多かったので、来年度の課題です。

(2) 事業報告

4月15日(土)	第12回高齢部定期総会	中央区文化センター(15名)
5月12日(金)	第1回役員会	神戸市障害者福祉センター(5名)
6月1日(木)	第2回役員会	ウィズあかし(5名)
6月3日(土)	第1回組織部会議	兵庫県立聴覚障害者情報センター(2名)
7月13日(木)	2023年度社会見学	淡路花さじき(38名)
7月2日(日)	第1回5役会	ウィズあかし(5名)
8月27日(日)	第3回役員会	ウィズあかし(5名)
9月18日(祝)	第38回兵庫県ろうあ者敬老会	神戸市障害者福祉センター(38名)
9月18日(祝)	2023年度こうれいしゃ講演会	神戸市障害者福祉センター(64名)
9月18日(祝)	第4回役員会	神戸市障害者福祉センター(6名)

10月29日(日)	第18回兵庫県ろうあ者グラウンドゴルフ大会	姫路さるびあドーム	(32名)
11月26日(祝)	第2回5役会	ウィズあかし	(4名)
2月8日(木)	第3回5役会	神戸市障害者福祉センター	(4名)
2月16日(金)~17日(土)	1泊2日旅行会	滋賀おごと温泉	(16名)
2月29日(木)	第6回役員会	神戸市障害者福祉センター	(4名)
3月2日(土)	第2回組織部会議	兵庫県立聴覚障害者情報センター	(2名)
3月21日(木)	第7回役員会	神戸クリスタルタワー	(5名)

近畿

7月6日(木)	第1回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪	(2名)
9月2日(土)	第44回近畿ろうあ高齢者大会	和歌山	(14名)
9月3日(日)	第34回GB競技大会&第14回GG競技大会	和歌山	(14名)
10月18日(水)	第2回近畿ろうあ高齢部代議員会議	奈良	(0名)
10月18日(水)	第9回近畿ろうあ連盟高齢部幹部研修会	奈良	(0名)
3月6日(水)	第3回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	大阪	(1名)

全国

9月22日(金)~24(日)	第35回全国ろうあ高齢者大会&第37回ゲートボール競技大会 &第14回グラウンドゴルフ大会	愛媛	(2名)
2月2日(金)~3日(土)	第15回全国ろうあ高齢部代表研修交流会	沖縄	(3名)

4. スポーツ部

(1) 令和5年度 総括報告

前年度より企画が増えており、役員達と一緒に相互協力しながら無事1年を終えることができました。2023年度の役員会は全10回行いました。現地に集まって会議したり、オンライン(zoom)を使っ
ての会議も行いました。事務局に関しては、役員会の招集、議事録作成、行事に関する公文書作成など
を行い、スポーツ部の運営に努めてまいりました。役員会だけではなく、LINEグループやメール等の情
報交換、確認なども行いスムーズに進められることができました。会計では予算の中でやりくりを行い、
無事に処理できました。企画担当に関しては、昨年度より企画が一つ増え、第42回兵庫県ろうあ者ソフ
トボール大会、パラスポーツ王国/夢プロジェクト2023、スポーツふれあい企画を進めてきました。
ソフトボール大会は、昨年度は雨天により、グラウンドのコンディションが悪く中止になりましたが、今
年は天気が恵まれ、多くのチームが参加いただき盛大な大会になりました。社会生活教室(青年部との合
同企画)では、神戸チェスクラブ 日本チェス協会所属の岡田充弘氏をお招きし、ルールやチェス歴史な
どの講演をいただきました。講演だけではなく、本格的にチェスも行い、大好評でした。今回初めての「パ
ラスポーツ王国 夢プロジェクト2023」イベントで、「デフリンピックを知ろう!!」と企画参加しまし
た。「デフリンピックを知っていますか?」と調査結果は、「YES 116人」、「NO 131人」となりまし
た。デフリンピックのことをまだまだ知らない人がたくさんいますので、もっと広げて知名度向上にい
きたいと存じます。編集担当では、毎月兵庫にスポーツ部のページを掲載して参りました。スポーツ部から
発信、取り組みなどを周知してきました。ページが限られているなか、どのように伝えていくか工夫して
参りました。読みやすいように工夫していきますが、他に掲載して欲しいデフスポーツ関連の情報があり
ましたら、ぜひ情報提供の協力をお願いします。第57回全国ろうあ者大会 in 福井の参加申込及び説明
会を2023年度7月に初めて行いました。陸上、ボウリング、女子バレー(男子バレー2人は滋賀県、
サッカー7人は大阪府)の競技参加申込がありました。また第57回近畿ろうあ者体育大会もフットサル、

男女バレーボール、ゲートボールの競技参加申込があり、スムーズに事務処理を進めることができました。第23回全国障害者スポーツ大会（鹿児島県）の近畿地区予選では、男子・女子バレーが参加しましたが、男女ともに2位となり、全国障害者スポーツ大会出場条件上、出場することができませんでした。来年は夏季デフリンピックが東京に開催されます。デフリンピック知名度向上は、少しずつ上がっている状況になっていましたが、まだかなり低くデフスポーツの普及、啓発等の取り組みして、会員や選手、関係者の皆様の協力、社会への周知が不可欠です。

(2) 令和5年度 事業経過報告

ア. 兵庫県ろうあ者社会生活教室（青年部合同企画）

【日程】2023年7月30日（日） 【場所】神戸市立総合福祉センター1階体育室

【内容】「チェスを楽しもう 体験してみませんか」（講師：岡田 充弘氏）

【参加】16名

イ. パラスポーツ王国 夢プロジェクト2023「デフリンピックを知ろう!!」

【日程】2023年11月3日（金） 【場所】しあわせ村

【競技】サッカー、ラクビ、バドミントン

ウ. スポーツふれあい企画

【日程】2024年2月4日（日） 【場所】尼崎市身体障害者福祉センター2階大ホール

【内容】「チェスをやってみよう」

【参加】9名

(3) 近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会等

ア. 第50回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】2023年5月7日（日） 【場所】滋賀県

【参加競技】男子・女子バレーボール、ボウリング、ゲートボール、フットサル、テニス

イ. 第50回近畿ろうあ者体育大会

【日程】2023年5月20日（土）～21日（日） 【場所】滋賀県

【参加競技】男子・女子バレーボール、ボウリング、ゲートボール、フットサル、テニス

ウ. 特別全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会

【日程】2023年6月18日（日） 【場所】奈良県

【参加人数】兵庫県男女選手別 各10名

エ. 第57回全国ろうあ者体育大会

【日程】2023年9月8日（金）～10日（日）

【場所】福井県

【参加競技】女子バレーボール、陸上、ボウリング、テニス、バドミントン

(4). 国際

ア. 第20回冬季デフリンピック競技大会エルズルム2023

【日程】2024年3月2日（土）～12日（火） 【場所】トルコ/エルズルム

【参加競技】カーリング

(5) 総会

ア. スポーツ部第11回スポーツ部総会

【日程】2023年4月16日（日） 【場所】神戸市立中央区文化センター

【出席】10名

(6) 当部関連会議

ア. 委員会や研修会等の役員参加状況

日程	事業名	開催地	参加人数
6月3日（土）	組織部会議	神戸	2名

7月15日(土)	第1回幹部研修会	神戸	3名
9月16日(土)	組織部会議	神戸	2名
10月7日(土)	中間報告監査会	神戸	2名
12月9日(土)	組織部会議	神戸	2名
12月23日(土)	行事調整委員会	神戸	3名
2月23日(金/祝)	第2回幹部研修会	神戸	1名

イ. 役員会出席状況

日時		場所	出席人数
第1回	2023/5/13(土)	兵庫県立聴覚障害者情報センター	7名
第2回	6/3(土)	Zoom	6名
第3回	7/1(土)	兵庫県立聴覚障害者情報センター	7名
第4回	7/29(土)	神戸市立総合福祉センター	6名
第5回	11/12(日)	神戸市立総合福祉センター	4名
第6回	12/16(土)	神戸市立総合福祉センター	4名
第7回	2024/1/19(金)	Zoom	5名
第8回	2/3(土)	尼崎市身体障害者会館	3名
第9回	3/17(日)	尼崎市身体障害者会館	4名
第10回	3/23(土)	兵庫県立聴覚障害者情報センター	6名

5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級～1級)

ア. 5級・4級試験の実施

日 程：令和5年10月14日(土)

会 場：中央区文化センター・姫路市総合福祉会館

受験者：5級：78名(神戸)30名(姫路)、4級：79名(神戸)29名(姫路)

イ. 3級・2級試験の実施

日 程：令和6年10月15日(日)

会 場：中央区文化センター・姫路市総合福祉会館

受験者：3級：77名(神戸)29名(姫路)、2級：47名(神戸)30名(姫路)

ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：令和4年10月21日(土)

会 場：中央区文化センター

受験者：準1級30名(神戸)、1級24名(神戸)

エ. 団体受験の実施

令和6年2月18日(日)5級1名、4級1名、3級9名 会場：宍粟市防災センター

オ. インターネット受験の実施

令和6年2月23日(祝)3級20名(オンライン)

6. 第19回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：令和5年10月28日（土）午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール

7. 兵庫県ろうあ者大会

第73回近畿ろうあ者大会（明石市立市民会館）開催のため休会

8. 第50回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時：令和6年1月14日（日）午前10時30分～午後4時00分

場 所：三田市総合文化センター（郷の音ホール）

内 容：第一部 大会式典（来賓、来賓祝辞等）
成人祝いのつどい（新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など）
辰年生まれ祝いのつどい（紹介、お祝い、記念品贈呈）

第二部 記念講演

『出会いに感謝！目で聴くテレビと私』 講 師 村上 信次 氏

第三部 次回開催地への引継ぎ 三田市から加西市へ

福引抽選会

参加者：449名

9. 第42回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日 程：令和5年11月19日（日）9：00～16：00

場 所：姫路市

参 加：63名

10. 第7回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：令和5年11月18日（土）

時 間：13：00～16：30

場 所：姫路市総合福祉会館

参 加：90名

内 容：「意思疎通支援事業及びこれからの課題」

講 師：一般財団法人全日本ろうあ連盟情報・コミュニケーション委員会 門倉美樹子氏

11. 幹部研修会

第1回幹部研修会

日 程：令和5年7月15日（土）

時 間：13：30～15：30

場 所：あすてっぷ KOBE

参 加：38名

内 容：「第11回 全日本ろうあ連盟評議員会報告、拡大運動、アイドラゴン4普及、
デフスポーツ・サポーター制度」

第2回幹部研修会

日 程：令和6年2月23日（金・祝）

時 間：13：30～15：30

場 所：長田区文化センター別館ピフレ会議室

参 加：37名

内 容：意思疎通支援事業の現状について

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
		2023/05/13	2023/06/17	2023/08/04	2023/10/7	2023/12/23	2024/01/13	2024/03/23
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出
理事	嶋本 恭規	出	出	出	出	出	出	出
	嘉田 眞典	出	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	出	欠	出	出	出
	足立 達哉	出	出	出	欠	欠	欠	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出
	水野 洋子	出	出	出	出	出	出	出
	大西 洋子	出	出	欠	出	出	出	欠
	中村 泰輔	出	出	出	出	出	出	出

監事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	出
	川上 能壽	出	出	欠	出	出	出	出

2. 総会

第12回総会 令和5年6月17日(土) 14時~16時

会場：あすてっぴ KOBÉ 代議員 出席24人 欠席1人

3. 事務局

- 協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図るとともに行政・関係機関・団体等との連携 及び関係づくりにつとめました。

4. 令和5年度人事異動報告

(1) 採用

令和5年4月1日	池田 真樹子	にしのみや聴覚障害者センター／パート職員
令和5年4月1日	田中 倫美	たじま聴覚障害者センター／パート職員
令和5年4月1日	濱名 孝枝	たじま聴覚障害者センター／嘱託職員（再雇用）
令和5年4月11日	山田 正紀	はりまふくろうの家／パート職員

(2) 退職・契約終了

令和5年4月11日	山田 正紀	はりまふくろうの家／パート職員
令和6年3月31日	木村 弥生	たじま聴覚障害者センター／正職員
令和6年3月31日	北垣 堅司	たじま聴覚障害者センター／パート職員
令和6年3月31日	藤本 佳永	たつのころうあハウス／正職員

(1) 近畿

ア. 第53回近畿ろうあ女性フォーラム

日時：令和5年7月9日（日）10:00～16:00

場所：尼崎

内容：分科会

参加者：114名

イ. 第73回近畿ろうあ者大会

日時：令和5年10月1日（日）10:00～16:00

場所：明石市民会館大ホール

内容：式典、議事、アトラクション、引継ぎ、福引

参加者：670名

(2) 兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回

(3) 近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第50回近畿ろうあ者体育大会（滋賀）令和5年5月20日～21日
- ・第73回近畿ろうあ者大会（兵庫）令和5年10月1日
- ・第12回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（大阪）令和5年11月11日
- ・第33回近畿ろうあ教育フォーラム（和歌山）令和6年2月3日
- ・第34回近畿手話サークルフォーラム（大阪）令和6年3月24日
- ・2023年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（大阪）令和6年1月20日～21日
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（大阪）令和6年1月21日
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（兵庫）令和5年4月29日
- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）令和6年1月20日
- ・近畿地区専従職員研修会（京都）令和5年8月31日～9月1日

(4) 全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第11回（通算第74回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会 令和5年6月9日～10日
- ・第71回全国ろうあ者大会（大分）令和5年6月9日～11日
- ・第57回全国ろうあ者体育大会（福井） 令和4年9月7日～10日

3. 各種委員会

(1) 情報センター運営協議会

ア. 会議日程：5/15, 5/23, 6/20, 7/11, 9/11, 1/27, 2/24 要望書提出：9/29

イ. 場所：神戸市立総合福祉センター・兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・
兵庫県手話サークル連絡会・兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ. 活動内容

令和6年度に向けた要望書をまとめて県と神戸市に提出しました。

(2) ひょうご聴障ネット

ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に

対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ. 令和5年度の活動

(主催事業・行事)

- ・総会(5月14日)会場：長田区文化センター会議室 参加者：64名
- ・夏の学習会(8月13日)「優生保護法大阪高裁判決から考える」
講師：大槻倫子(優生保護法兵庫弁護団)
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭(10月28日)
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- ・役員会 毎月第3木曜日 於：東栄ビル
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日
- ・2024年ふくろうカレンダーの作成、販売
- ・兵庫県議会訪問(10月2日)

(協力事業・行事)

- ・旧優生保護法被害国賠訴訟 傍聴呼びかけ等

<支援>

デイサービスセンター「桜ヶ丘」、たつのこ工房、一般社団法人夢ふうせん、特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷

<会員・資産>

2023年3月31日現在 会員数306人・67団体

(内訳：個人/251、月払49、特別/6 団体/67)

2024年3月31日現在 資産残高19,105,789円

<兵聴協との関わり>

- ・兵聴協から代表委員1名・事務局次長1名・委員2名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎月聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行いました。

(3) 兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第2木曜日開催 Zoom 20:30～

イ. 主な活動

- ・第24回ろう教育フォーラム in 兵庫
日 時：7月22日(土) 13:30～15:30
会 場：ふれあいプラザあかし
内 容：ろう学校の現状と課題について、パネルディスカッション、グループトーク
講 師：富田裕介(神戸聴覚特別支援学校) 小松歩(こばと聴覚特別支援学校)
河島さとみ(姫路聴覚特別支援学校)

(4) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：隔月第2月曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター

5/8(月) 7/10(月) 9/11(月) 10/30(月) 12/11(月)
2/5(月)

イ. 構成委員：(兵聴協) 仲井・水野

(県サ連) 苗村・江木 (兵通研) 秦野・鈴木

ウ. 活動内容

- ・啓発DVD「リラクゼーションのすすめ」販売(増版し啓発していく)

・兵庫県立聴覚障害者情報センター けいわん検診への協力(受付、アンケートの実施)8/19(土)

①神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター : 6/15 (木)

②神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター : 6/22 (木)

③丹波会場 丹波市率氷上住民センター : 6/30 (金)

④川西会場 キセウ川西プラザ : 7/4 (火)

⑤高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター : 7/6 (木)

・兵庫県立聴覚障害者情報センター主催健康学習会への協力(受付・啓発): 8/19(土)

・けいわん学習会 『手話通訳者のメンタルヘルス ~心も体も生き生きと~』

日時: 11月5日(日) 13:30~16:00

場所: 神戸市立総合福祉センター神戸市障害者福祉センター

講師: 重田 博正 氏(大阪社会医学研究所)

・けいわん学習会 『病気に負けない健康な食生活』

日時: 2月11日(日) 13:30~16:00

場所: 姫路市総合福祉会館 第1会議室

講師: 上野 樹世 氏(公益社団法人兵庫県栄養士会理事 管理栄養士)

エ. 啓発事業

・ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載

・学習会、けいわん検診など行事で「STOP・ザ・けいわんパートⅡ」「身体のストレッチ」冊子紹介。

・兵庫県立聴覚障害者情報センター主催の健康学習会で委員会活動の紹介

・けいわん検診時のアンケート集計を行い、兵聴協、情報センターへ集計結果の報告をした。

・県サ連学習会の休憩時間を利用し、けいわん体操を行った。

オ. 総括

・会議開催日は原則2ヵ月に1回とし、学習会前などに臨時で開催した。

・今年度、訪問(オルグ)の依頼はなかったが健康学習会で委員会紹介と、けいわんが起こるしくみ、けいわんの予防が大事だと啓発した。

・けいわん予防の啓発のためDVD作成し周知してもらうため大会などで販売を行った。

・肩甲骨を意識したTシャツを委員は着用し、関連した学習会で体操をおこない参加者に印象付けの効果も期待したい。

(5) 災害対策委員会

ア. 委員会

Zoom 会議 10月24日(火) 19:00~20:30 対面 実施なし

イ. 構成委員:(兵聴協)橋詰、中村、嘉田、岩本 (県サ連)平塚、竹内 (兵通研)鞍富、上田

ウ. 活動内容

1. 令和5年10月28日(土) 10:00~15:00 神戸市灘区民ホール

兵庫県聴覚障害者文化祭展示ブース出展(防災リュック等)

2. 令和5年11月5日(日) 10:00~12:00 神戸市立総合福祉センター

兵通研 被災地から学ぶ学習会「聴覚障害者と災害」 講師: 森川美恵子氏

3. 令和5年11月11日(土) 10:00~15:00 大阪府立情報コミュニケーションセンター

近畿ろうあ者盟福祉・労働フォーラム開催参加協力

大聴協 近畿ろうあ者労働福祉フォーラム「ろう者の立場から考える医療の情報保障」

4. 1月17日(月)「ひょうご安全の日のつどい」の取材、『ろうあ兵庫』へ掲載

エ. 総括

委員会として、「聴覚障害者文化祭」や「ひょうご安全の日のつどい」の出展などで思ったほどの啓発活動や集まったの会議もできなかったが、オンラインや防災に関する情報をろうあ兵庫に掲載するなど取り組みを続けました。

今後も災害時の聴覚障害者への情報保障や聴覚障害者だけではなく広く県民に障害者問題への理解を頂き、障害のある人々だけではなく、やさしい社会を求めて地域の活動の取り組みをサポートし、委員会活動の充実を図りながら積極的に関わっていかねばと実感しております。

(6) 聴覚障害者の医療を考える会(“いのち”を考える会)

【活動内容】

班員 15 名で活動(医師 1 名、薬剤師 3 名、看護師 5 名、臨床検査技師 1 名、聴覚障害者の医療に関心のある会員 5 名)

1. 一聴覚障害者の医療を考える会—“いのち”を考える会

5/25(木) 第 190 回 「目の病気、一気に教えてもらう」

～白内障・緑内障・黄斑変性症・糖尿病性網膜症あれこれ～

講師：山中 忍 医師(山中眼科医院 / 神戸市灘区) 参加者：31 名(聴覚障害者 15 名)

7/27(木) 第 191 回 「コロナが 2 類から 5 類になって、どう変わったのか」

講師：高野 修一 医師(ろっこう医療生活協同組合灘診療所 / 神戸市灘区)

参加者：27 名(聴覚障害者 10 名)

9/2(土) 第 192 回 第 21 回 出前“いのち” in 淡路地域 「保険証廃止でどうなるの？」

講師：川西 敏雄 歯科医師(兵庫県保険医協会参与) 参加者：36 名(聴覚障害者 17 名)

11/16(木) 第 193 回 「心筋梗塞」～どんな人になるの？何に気をつけたらいいの？～

講師：高橋 知三郎 医師(高橋医院 / 神戸市垂水区) 参加者：15 名(聴覚障害者 5 名)

2/29(木) 第 194 回 「50 才過ぎると多くなる病気、ヘルペス(带状疱疹)を知ろう」

～その病状と予防接種～

講師：林 宏明 医師(はやし皮ふ科クリニック / 神戸市中央区)

参加者：24 名(聴覚障害者 7 名)

(保険医協会の協力と、兵庫県聴覚障害者協会との連携で 1987 年から 36 年間継続できている。)

2. 医療班員の専門性を活かした活動の展開

- ・行事で健康相談コーナーを設け、参加した医療班員の資格を活かして、健康相談(医師、看護師)、血圧測定、お薬相談、検査相談、握力測定を実施した。
- ・健康相談コーナーの利用に際し、健康診断の結果やお薬手帳など持参していただくよう案内し細かな相談に応じることができた。聴覚障害者が自分の健康について関心を持てるような活動を継続していきたい。

・行事における各コーナーの利用者件数

10/ 1(日) 第 73 回近畿ろうあ者大会(明石市立市民会館大ホール)

健康相談 2 件、血圧チェック 2、お薬相談 0、検査相談 1

10/28(土) 第 19 回聴覚障害者文化祭(兵庫県立聴覚障害者情報センター)

健康相談 1 件、血圧チェック 106、お薬相談 9、検査相談 0

12/ 3(日) 神戸市聴覚障害者のくらしを考える会(長田区文化センター)

健康相談6件、血圧チェック25、お薬相談0、検査相談0

1/14(日) 第50回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

(三田市総合文化センター郷の音ホール)

健康相談14件、血圧チェック81、お薬相談4、検査相談0

3/10(日) 第42回神戸ろうあ協会耳の日記念大会(垂水区文化センターレバンテホール)

健康相談7件、血圧チェック56、お薬相談0、検査相談0、握力30

【課題】

- コロナは5類へと引き下げられたが、引き続き参加者の感染対策に配慮し“いのち”を考える会を開催する。
- 若い世代の聴覚障害者にも興味を持って参加してもらえるように“いのち”を考える会のテーマを選定していく。
- 出前“いのち”は地元医師の都合がつかずテーマが変更になったため、神戸の歯科医師が講演した。地元医師とのつながりも目的なので早めに日時、講師を選定したい。